

資料3 事前ワークに基づく推進計画(改定版)反映一覧

No	ページ数	項目	意見内容		理由/指摘事項	対応方針	対応方針の理由及び補足事項
			修正前	修正後			
1	1	はじめに	1段落目「私たちの川口中学校区には... ..などの地域課題もあります。」	追加)「 <u>またその中では、歴史的背景や福祉施策の行政単位としてある檜原中学校区を含めた計画も視野に入れるべきと認識されたところですよ。</u> 」			内容を一部変更して追記する。
2	1	はじめに	私たちの川口中学校区...	私たちの川口中学校区、 <u>檜原中学校区</u> ...	* 川口中学校区は、檜原、犬目、川口、上川、美山で構成しており、今後の検討、活動と一緒にを行うべき。 * やまゆり館まつりは川口だけでなく檜原も一緒に行っている		No.1と合わせて追記する。 【補足】 檜原中学校区を並列して追記することについては、檜原中学校区への確認が必要となるため、檜原中学校区に推進会議が立ち上がった際に、改めて検討する。
3	1	はじめに	1段落目「私たちの川口中学校区には... ..あらゆる世代が地域づくりに参加できるよう検討してきました。」	追加)「検討してきましたが、 <u>川口地区には檜原中学校区もあり、共通テーマとアクションプランに共有するテーマが混在しています。これらの課題を検討していくために、地域づくりの推進計画を川口中学校区地域づくり推進会議として見直す課題が見えてきました。</u> 」		×	本計画の改定では、地域の魅力や課題、共通テーマを整理したうえでアクションプランを検討し、それと合わせて見直しを行っているため、見直すべき事項は反映されているということで整理する。
4	1	はじめに	まずは自分たちでできることをまとめました。ぜひ、1人でも多くの...	まずは自分たちでできることを <u>まとめるために</u> 、ぜひ、1人でも多くの...			内容を一部変更して追記する。
5	1	はじめに	私たちの川口中学校区には、四季の変化を感じられる自然環境や、人とひととのつながり強い地域性、町会・自治会やボランティア団体などによる活動が活発であるなど、様々な魅力があります。一方、これまでそうした地域活動が幅広く活発であるからこそ、その担い手が不足したり、昔からのこの地に住む住民と新しい住民の交流が希薄になっているなどの地域課題もあります。	私たちの川口中学校区には、四季の変化を感じられる自然環境と、昔からの <u>伝統文化や行事などが町会・自治会やボランティア団体などによって引き継がれ活発に活動しています。こうした人と人のつながり強い地域は、その担い手が不足しています。また、宅地化が進んだ地域では、新しい住民と昔から住んでいた住民との交流が希薄になっているなど地域課題が顕著になりました。</u>			内容を一部変更して追記する。
6	1	はじめに	私たちの地域を「誰もが住みたくなる住み続けられるまち」にしていくためには何が必要かを考え、まずは自分たちでできることをまとめました。ぜひ、1人でも多くの皆さんの御参加、御協力をお願いします。	追加)私たちの地域を「誰もが住みたくなる住み続けられるまち」にしていくためには何が必要かを考え、 <u>行政と地域が知恵を出し、行政と協働で地域づくりを進めるために自分たちでできることをまとめました。ぜひ、1人でも多くの皆さんの御参加、御協力をお願いします。</u>			内容を一部変更して追記する。
7	2	地域づくり推進計画について	地域の将来ビジョンの実現に向けて、地域づくり推進体制のもと、本計画内で整理したアクションプランに基づき取り組んでいきます。	地域の将来ビジョンの実現に向けて、地域づくり推進体制のもと、 <u>行政(所管部門)と情報や計画を共有して、計画の遂行を地域に見える化して取組を進めていきます。</u>			内容を一部変更して追記する。
8	2	地域づくり推進計画について	(アクションプラン)地域の将来ビジョンの実現に向けて、地域内で連携しながら取り組む内容	地域の将来ビジョンの実現に向けて、地域内の <u>町会・自治会、学校などの団体と連携しながら取り組む内容</u>			内容を一部変更して追記する。
9	2	地域づくり推進計画について	(地域づくり推進体制)アクションプランにもとづく取組や新たな地域課題の検討及び対応等を行うための体制	アクションプランにもとづく取組や新たな地域課題の検討及び対応等を行うための体制には、 <u>行政(所管部門)も参画する。</u>		○	内容を一部変更して追記する。
10	3	地域概要	川口中学校区の特徴...	川口中学校区、 <u>檜原中学校区</u> の特徴...		×	檜原中学校区を並列して追記することについては、檜原中学校区への確認が必要となるため、檜原中学校区に推進会議が立ち上がった際に、改めて検討する。

No	ページ数	項目	意見内容		理由/指摘事項	対応方針	対応方針の理由及び補足事項
			修正前	修正後			
11	3	地域概要	川口中学校区の特徴、人口、歴史・自然・文化、地域活動などをまとめました。詳細は、「川口中学校区地域カルテ」に掲載しています。ぜひ御覧ください。	追加)「 <u>なお、榎原中学校区の一部施設も記載しています。</u> 」			
12	3	地域概要 (1)概略	川口中学校区は、上川町、川口町、美山町の全域と犬目町の一部から...	川口中学校区、 <u>榎原中学校区</u> は、上川町、川口町、美山町の全域と <u>犬目町、榎原町</u> から...		×	榎原中学校区を並列して追記することについては、榎原中学校区への確認が必要となるため、榎原中学校区に推進会議が立ち上がった際に、改めて検討する。
13	3	地域概要 (2)特徴 産業	圏央道八王子西インターチェンジ周辺では、民間の土地画整理事業者...	<u>丘陵地が多く平坦な場所の農地は市街化区域と調整区域に分けられ、最近</u> は農業を志す若い世代の新規就農者も増えてきました。山間部では硬質砂岩の砂利砂を生産しています。将来に向け、都市計画公園や産業拠点の整備が進んでいます。			内容を一部変更して追記する。
14	3	地域概要 (2)特徴 産業	圏央道八王子西インターチェンジ周辺では、民間の土地画整理事業者...	<u>農業やサービス業、製造業、建設業などがあり、個人経営など中小企業が多くある。また白亜紀の硬質砂岩帯から砂利・砂を生産している。</u>	産業の定義：経済活動のことを指し、物流拠点や都市公園化は計画なので該当しない		No.13の意見と合わせて追記する。
15	6	(4)歴史自然 文化	川口中学校区内には縄文時代の宮田遺跡があり、...	<u>川口中学校区は、旧川口村の一部であり、この区内には縄文時代の宮田遺跡があり、...</u>			
16	10	地域の将来ビジョン	住みたくなる、住み続けられるまち川口 ～自然と共生し、大人から子どもまでのつながりを大切に～	住みたくなる、住み続けられるまち川口 ～自然と共生し、大人から子どもまでのつながりを大切に <u>好循環が生まれる地域づくり</u> ～		—	第7回推進会議で確認する。
17	10	地域の将来ビジョン	「地域のあらゆる世代」、「地域の住みやすさ」、「自然の豊かさ」の3つのキーワードをもとに、地域に住む子どもから大人までの人々が、つながりや結びつきを大切にしていきたいという思いから将来ビジョンを決定しました。	「地域のあらゆる世代」、「地域の住みやすさ」、「自然の豊かさ」の3つのキーワードをもとに、地域に住む子どもから大人までの <u>あらゆる世代</u> がつながりや結びつきを大切に <u>安心して暮らし続けられる地域づくりを行う</u> 。その一つとして、 <u>地域資源を活かした起業支援で新規事業を創出して働き場所を増やし、活気ある賑やかな地域に変えていきたい</u> という思いから将来ビジョンを決定しました。		—	第7回推進会議で確認する。
18	10	魅力 (ア)地域環境に関すること	・ 上川町、川口町、美山町、犬目町は地域の居住環境が違う。 ・ 川口町は戸建てが増え、新住民が増加している。 ・ 上川町は地域内での結束力が強い印象がある。 ・ 美山町は戸沢峠を越えた地域で、美山町独自の文化がある。	・ 上川町、川口町、美山町、犬目町は <u>縄文遺跡や神社仏閣が多く、地域ごとに歴史や文化、伝説が残っている。</u> ・ <u>上川町、川口町、美山町、犬目町には里山の原風景が残されている。</u> ・ <u>美山町、上川町は多様な生態系が残っている。</u>			
19	11	課題 (ウ)地域活動の担い手不足	・ 60～80代が地域活動の中心であり、若い世代の地域づくりへの参加が少ない。	<u>高齢者(60～80代)</u> が地域活動の中心であり、若い世代との <u>つながり</u> による地域づくりへの参加が少ない。			内容を一部変更して追記する。
20	11	課題 (ウ)地域活動の担い手不足	・ 各地域団体における担い手が不足している。	・ <u>高齢者の活動団体</u> 、地域における <u>若い世代の</u> 担い手が不足している。			内容を一部変更して追記する。
21	11	課題		項目追加) <u>山間部の農地は獣害被害が増加して、農作物に大きな被害が発生している。</u>			内容を一部変更して追記する。

No	ページ数	項目	意見内容		理由/指摘事項	対応方針	対応方針の理由及び補足事項
			修正前	修正後			
22	11	課題	地域づくりを進めるうえでは、今ある魅力を活かしなが ら課題を解決していく必要があります。これらを踏ま え、住民主体で無理なく楽しく進めていける活動につ いて検討しました。	地域づくりを進めるうえでは、今ある魅力を活かしなが ら課題を解決して いく必要があります。また、 <u>地域で解決できない内容は、行政と地域が連 携して取組や計画を明確にして実現できるように行政に働きかけることに しました。</u>			内容を一部変更して追記する。
23	12	5共通テーマと 視点	私たちは、設定されている「共通テーマ」と「検討の視 点」を取り入れることができるよう検討を重ね、今後、 地域の将来ビジョンの実現に向けて、行政と連携しなが ら地域全体で取り組んでいきます。	私たちは、設定されている「共通テーマ」と「検討の視 点」を取り入れることができるよう <u>行政の計画や数値目標、スケジュールについて理解し、</u> 今後、地域の将来ビジョンの実現に向けて、行政と連携を <u>図り、情報共有 や計画に対する遂行度を見る化して</u> 地域全体で取り組んでいきます。	行政が明確なビジョンと実行計画を示さずテーマだけ示 し、地域計画や取組を地域に丸投げするような手法では地 域負担が増大する 地域計画は、地域団体が幅広く人材を集め組織化して、 人・予算を配分しなければ市民の負担が増すだけ カーボンニュートラル、地域防災、公共施設などにつ いて、八王子市のスケジュール、目標値などを明確にしな ければ、地域活動のアクションプランはできない。		内容を一部変更して追記する。 【補足】 共通テーマや人・予算に関するご意見につ いては、令和5年度（2023年度）以降、全体会にて 共有、検討をさせていただく。
24	13	アクション プラン			「今後、取り組んでいく際には、八王子市が設定する 「共通テーマ」と「検討の視点」を意識するとともに、活 動する中で改善点を洗い出し、随時見直しを行いながら進 めていきます。」文末の内容がわからない。	—	第7回推進会議で確認する。
25	13	(1) アクシ ョンプラン一覧			アクションプラン一覧の課題(1)などの付帯する関連 性がわかりにくい。	—	第7回推進会議で確認する。
26	13		<u>(農業・農地の保全)</u>		今困っているのは、農業の後継者が不在であること、イ ノシシ、シカによる被害である。農作業を行う場所を管理 して荒地にしない策や獣害対策等が必要と考える。緊急 に行わないと農地がなくなる恐れがある。	×	令和4年度（2022年度）において本内容の検討 を全体会で行っていないため、令和5年度 （2023年度）以降の検討議題とし、現時点にお いて本計画には反映しない。
27	13		未来につながる学校づくり		市の考え方がまったくわからない中で、“公共施設で意 見交換。”とは何を検討するのか。市がどのようにしたいか 計画等を出すべき。	—	第7回推進会議で確認する。 (第7回推進会議当日に担当所管課から説明)
28	14	アクション プラン 地域のプラ ットフォー ムづくり	取組「コミュニティカレンダー」「マルシェ」	<u>追加) コミュニティカレンダー、マルシェの運営を円滑に執り行うため、 プラットフォームとして、公設民営の「地域づくり推進協議体」を設置す る。(2つの事業にかかる取組として)</u>		×	協議会に関する内容については、令和5年度 （2023年度）以降の検討議題とし、現時点にお いて本計画には反映しない。
29	14、15	アクション プラン ターゲット			町会は会員から町会費を徴収して運営している。やまゆ り住民協議会などには分担金を渡している。マルシェやハ ザードマップ、防災に関するイベントなど行った場合、町 会費を負担していない人も参加でき、不公平となり、ます ます町会の脱会が増える。地域自治として運営するなら、 住民全員から地域税を徴収し、各町会に分担金を払うよう にすれば公平になる。市として検討してほしい。	—	修正に関する記載ではないため、今後推進会議 を進めていくながでの検討事項とする。
30	14、15	アクション プラン スケジュール			スケジュールは、どのようにして決めたのか。	—	これまでの全体会で議論し、令和8年度（2026 年度）までのスケジュールを作成しました。
31	15	災害に強いま ちづくり		目的： <u>災害に強い人づくり、災害に地域で対応できる力を高める</u> 共通テーマと視点： <u>災害の発生に備え、必要な知識と情報を身につける</u>			共通テーマにおける「地域防災」の言い方は、 中学校区共通で使用しているため、目的部分の みを追記する。
32	15	災害に強いま ちづくり	課題：防災に関する教室やイベント等との調整	<u>防災知識の向上</u>			内容を一部変更して追記する。

No	ページ数	項目	意見内容		理由/指摘事項	対応方針	対応方針の理由及び補足事項
			修正前	修正後			
33	15	災害に強いまちづくり	ハザードマップの作成		本来は市防災課が作成するもの。地域の人に昔の話を聞いて作成するのは正確な情報が疑問。市が作成したものに地域情報を追加することはできる。予算確保が課題（東京都の町会向け補助金の活用など）。川口中学校区だけでなく楡原中学校区と一緒に検討したほうがよい。	—	第7回推進会議で確認する。
34	15	災害に強いまちづくり	消防署、消防団との連携方法	消防署、消防団、 防災課 との連携方法			
35		災害に強いまちづくり			松枝小学校区ではすでに防災組織を立ち上げ、川口小学校区でも立ち上げ準備中。八王子市社会福祉協議会も災害時の連携に取り組んでいる。個別独自に動くよりも、各町会の防災組織がどんな活動をしているか調査を行った上で、地域づくり推進会議として足りない部分を補う形で取り組んでどうか。ハザードマップを作成している町会、AED設置箇所を示した図面もある。	—	部会活動を行っていくうえでの参考とする。
36	15	災害に強いまちづくり			スケジュールがR8で完結しているが、時間をかけて完結するものではない。 ハザードマップは市で作成しており、必要があれば行政が地域毎に詳細な個別データを提供でき、地域から要請がある場合に行政の所管が提供できる情報をまとめればよいのではないか。地域づくりで時間をかけてハザードマップづくり・破風をする意図は何か。 地域ごとに災害発生の箇所や傾向はある程度予測できるので、生命と安全が確保できる取組を明確にすればよいのでは。 行政と地域の取組分担を明確にする必要がある。	—	部会活動を行っていくうえでの参考とする。
37	17	全体スケジュール		R5「 災害に強い人づくりに向けた防災教室の開催 」をはじめに記載			
38	18	地域づくり推進体制「役員会」		追加）楡原中学校区との連携について		×	楡原中学校区を並列して追記することについては、楡原中学校区への確認が必要となるため、楡原中学校区に推進会議が立ち上がった際に、改めて検討する。
39	18	地域づくり推進体制		追加）組織図の中に「 地域自治 」、「 共創と協働 」の理念を記載	長期ビジョン2040の中に表現されているが、地域づくり推進体制の中にはない	×	本内容を掲載するためには、「八王子未来デザイン2040」についての説明を追記しなければならないうえに、それを説明するためにはかなりのページ数をもって行う必要がある。本計画は、地域の計画となるため、追記しない。
40	19	参加者一覧（所属）			町自連、学運協、住民協の記載ではなく、町会の所属としたほうがよい	×	運営担当との打ち合わせのなかで、記載方法を変更したため、反映しない。